



個・クリエイション!



宇和島の個性を、
共に創る

さまざまな立場の人たち、関係者と対話しながら新しい価値を生み出していくことを意味する「コ・クリエイション(Co-creation)」。「共に「創る」の意味から「共創」とも呼ばれます。

本市では、この「共創」に力を入れていきます。宇和島が「選ばれるまち」として発展していくためには、宇和島ならではの魅力・個性をALL宇和島で創り上げていく必要があります。

そんな中、新たな魅力を創る場所として、また魅力そのものとして、廃校となった石応小学校を拠点とした取り組みが始まっています。

今回は、その取り組みを紹介しながら、共に創る宇和島の未来についてお伝えします。



宇和島で新たな動きが始まっています。

廃校モールプロジェクト

企業版ふるさと納税を活用して廃校となった石応小学校を改修し地域の新たな拠点とする「廃校モール」プロジェクトがスタートしています。

このプロジェクトは、石応白浜地区地域づくり協議会が主体となり民間企業と協働しながら、地方創生に関心の高い都市部の企業と地元企業や地域住民との共創の場を提供することで、地域の新たな魅力を創り出そうとするものです。廃校利活用による地域活性化および地方創生の促進について包括連携協定を締結しているネットイヤーグループ(株)も、このつながりから廃校モールで活動しています。

災害時には施設を地域に開放し、電力と通信の確保を助け、人がすぐに住める状態を維持します。また豊かな自然環境の中で、交流の場とさまざまな学びのプログラムを提供し、アイデアの実現を手助けします。そして地域住民と訪れた人が交流できる開かれた空間をデザインするとともに、デジタルを駆使した地域自治に挑戦します。



01 避難所として



02 創造の場として



03 交流の場として





地域を巻き込む。地域に巻き込む。

「つながる古着」プロジェクト

旧石応小学校の教室を作業場として活用し全国から送られてきた古着を再利用して販売する取り組みです。古着の仕分けや販売などの作業を地域の人たちにお願いくすることで、雇用の創出につなげています。全国から気軽に地域貢献できるプロジェクトです。



ライフスタイルツーリズム

企業の合宿などを廃校モジュールで行ってもらう取り組みです。豊かな自然の中でのワークショップや、グランピングテントでの非日常、地域の人たちとの交流などを通して、都市部ではできない体験や気付きを提供します。



コ・クリエイティブスペース 「With Tokio」

会員となれば使用できるシェアスペースです。さまざまなワークショップや最先端のデジタル技術を使ったセミナーを開催予定で、単なるコワーキングスペースではない「共創の場」を提供します。地域での起業や田舎暮らしを楽しむ仲間と、豊かな人生の過ごし方について語り合うことができる場所です。



外と地域がつながる場所に

ネットイヤーグループ(株)
花田直也さん

今年1月、入社2年目の終わりに宇和島にやってきました。現在、廃校モジュールプロジェクトに携わりながら、すぐ近くの古民家シェアハウスで暮らしています。もともと地方への興味はあったものの、東京を離れたことがなかったのが不安でしたが、地域の人が優しく接してくれたので安心しました。

宇和島で過ごす中で、Uターン者が結構いて、外からの視点を上手く生かしている人が多いと感じました。廃校モジュールを、そういった人や都市部で働いている人たちと地域がつながる場所にしていきたいと考えています。そのためにも、もつと地域に溶け込めるようにいろんな場所に顔を出したいと思います。廃校モジュールも気軽にのぞいてもらえればうれしいです。





このプロジェクトには、シェアハウスの仲介やつながる古着の窓口などで協力してきました。最初は心配もありましたが、各自治会に対し説明して理解いただき、現在は歓迎してもらえていると思います。地域を巻き込むには、行事に参加するなど行動を共にすることが大事です。高齢化が進む地域では若い人たちは大歓迎なので、これからも一緒に盛り上げてもらえればと思います。今後ますますつながりを深め、あらゆる人を巻き込みながら、内外からさまざまな交流が生まれることを期待しています。

地域と共に創る



石応公民館
清水 儀仁 館長



**with
Tokio**
Kokubo Uwajima

みんなで創る 豊かな日常

マダイ、かんきつ、真珠、じゃこ天、牛鬼、闘牛、宇和島城…、宇和島には全国に誇れるものがたくさんあります。また、そこには関わる人たちの暮らしや風景があります。

本市では、まちの魅力は宇和島に息づく「日常の豊かさ」にあると考えています。冒頭に挙げたものは宇和島の大きな魅力です。そして宇和島で過ごす普段の何気ない日常も、このまちの魅力なのです。長く住んでいると気付きにくいものですが、外から来た人はそれを最初から感じ、Uターンした人は外でそれに気付いて今に生かしています。

そうしたさまざまな立場で宇和島に関わる個人がつつながり、まじわうことで、宇和島の新しい個性が生まれるのだと思います。

ココロまじわうトコロを
目指して、宇和島の魅力を
共に創り上げていきましょ
う。

